

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止

利  
休



presented by  
ニャリャポング



利  
休  
ハ  
ー  
ド



# まえがき

～キャラをよく知らない人のためのカンタン解説～



## 千利休 せんのりきゅう

いわずと知れた茶の湯の大成者。もとは堺の商人。弟子多数。秀吉の茶頭となり権勢をふるったが、最後は秀吉と不仲となり切腹を命じられた。もとは身長180cmあると言われる大男だが、駒姫様の身体を借りてる今はちっこい。中身男のくせに謎の色気がある。金子(きんす)大好き。享年70歳。



## 駒姫 こまひめ

出羽(山形)の武将の最上義光(もがみよしあき)の娘。政略結婚により豊臣秀吉の甥・秀次に嫁いだところ、秀吉の勘気を被った秀次が切腹させられる事件が発生。秀次にかかわった者としてほかの女・子どもとともに京の河原で斬首された悲劇のお姫さま。琵琶や和歌が得意。苦いのは苦手。享年15歳くらい。



カルデアマイルーム  
初夜——

ギシ..

入れるよ  
駒ちゃん……

来てください  
マスター様……♡

あれ……？

うまく……  
入らな……

マ……かな……？

ん……？

えっと……

もた……

もた……

あっ……

しほんじや……





利休さん!?

拙い……

ドキ

失礼

本来 若いお二人に  
任せるべきこととは  
重々承知して  
いるのですが……

先程からの  
お二人を見ていると  
あまりに隔靴搔痒……

老婆心ながら一つ  
“あどばいす”を  
差し上げた……

池の鯉のように  
口を開けて待っている  
だけでは殿方も  
気を使いすぎて愉しめぬ  
というもの

昼は  
貴人なれど  
夜は娼婦の  
ごとく

男女の交合とは  
ただ挿れただ出す  
だけに非ず  
茶の湯と  
同じ  
碎咳同時  
一座建立  
どちらが出すぎて  
いけませんし  
どちらかが  
引込み  
すぎて  
いけません

よろしいですか?



相手の事を思い  
二人そろって  
楽しい席をつくる  
ことが男女の契りの  
本懐なれば……

特に駒姫様!



いつまでお姫様  
気分でのいるのです

殿方を助け  
ともに快楽へ至る  
道を歩めるよう導く  
ことこそ女子の大切な  
役目でございます

……ご、ご助言  
ありがとうございます!  
利休さん  
それでは……



これも  
駒姫様の為……  
この利休が  
手本をご覧に  
いれましょう

え?







マスター様の  
御一物が！

ドキ  
ドキ

よろしいですか  
駒姫様

芸事同様  
お夜伽にも  
「型」という  
ものがあります

この歳で  
いささか恥ずかしう  
ございますが……

例えば  
殿方を  
誘うときには  
このように――

利……駒を  
極楽浄土へ  
連れて行って  
くださいませ♡

きてください  
マスター様……♡

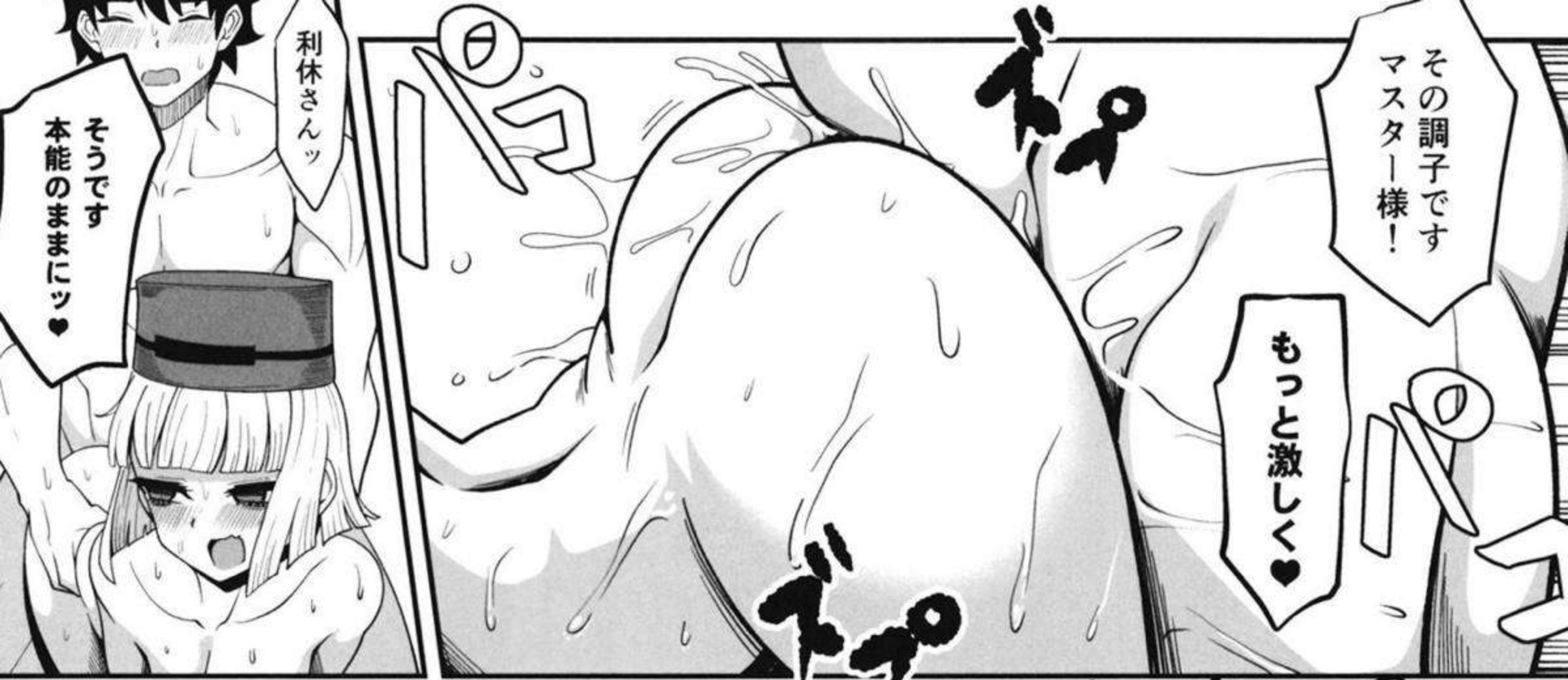
あんなに  
大きく――！

あ♡

利休さんっ！！♡

ドキ  
ドキ





その調子です  
マスター様!

もっと激しく!♥

利休さんッ

そうです  
本能のままにッ♥



利休さん

あの...

もう  
わかりましたから

そろそろ  
交代を...

こんな  
気持ちいいの...  
俺初めてです!

なんとうれしい  
お言葉...っつ  
利休カンゲキ♥

はしゃしゃ♥  
はしゃしゃ♥



ああっ...  
もっと奥!...

子壺まで深く!♥

はい!



あの...

交代...

ん...チュッ♥♥♥  
マスター様♥♥♥...  
ん♥♥♥

利休さん...♥

はしゃしゃ♥  
ぐちゃ♥



一番奥に  
注ぎ込んで♥♥♥!

あ♥♥♥ あ♥♥♥  
あ♥♥♥ あ♥♥♥

お出しく下さい  
マスター様♥

子種をッ!

出します  
利休さん

フオ オオオ



# おのれ 利休さん……!!



口では

「ご安心ください  
駒姫様」

亀の甲より歳の劫  
この利休が  
お二人の恋路を  
影に日向に  
はつくあつがして  
参ります所存……」

……とか言って  
後方保護者ツラ  
しておきながら  
ちゃっかりマスター様の  
心をモノにして……!!

一度や  
二度ならず!

しかも  
私の身体を  
使って……!!



なんて  
年甲斐なしの  
破廉恥な方でしょう!

泥棒猫!

大俗物!

テツルモツル<sup>※1</sup>  
みたいなの  
変な裾して!

売僧坊主!<sup>※2</sup>

※1…鱗皮動物門、クモヒトデのなかま。うねうねとした腕が特徴。  
※2…物売りをする墮落した僧のこと。千利休の切腹の原因の一つに茶器を高値で売りさばいた売僧行為があるとされている。



今回ばかりは  
堪忍袋の緒が  
プツンました

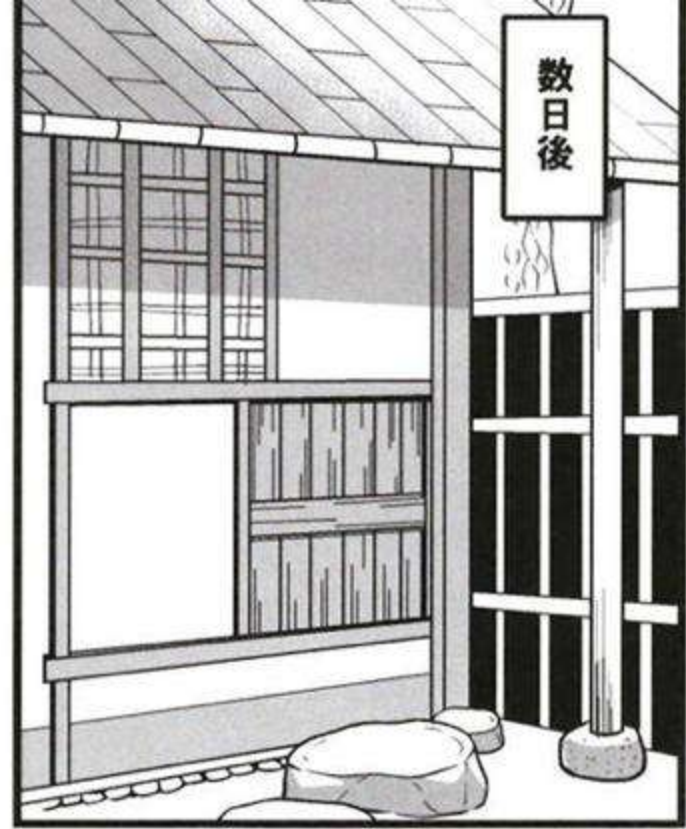
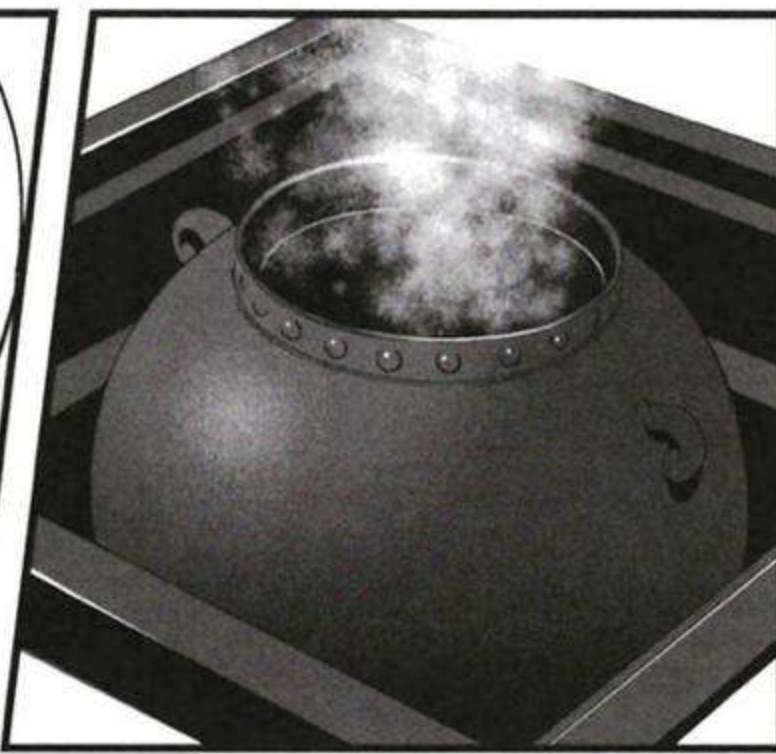
茶聖だか  
なんだか  
知りませんが

この恨み……  
一度キツチリ  
晴らさないと  
気が収まりません

# ゴゴゴ

ふっふっ  
クッ  
クッ  
クッ









脚を楽に――

いかかでございますか

もともと  
茶の湯とは  
茶室という  
密室で  
おこなわれる  
一種の秘事……

私の時代には  
時の権力者を  
招き招かれ  
政談・密談・陰謀  
その他アレコレ……

茶会記にも載らない  
茶事のこと……  
お聞きになりますか

いえ後で  
結構……

現代では  
芸事の面ばかり  
残っておるようですが

け……結構な  
お手加減で……

ふふ……

でも  
良いんですか  
利休さん……

それもあるけど  
駒ちゃんの事……



それより  
今はこちらを……♡

利休さん……

手コキッ

上手すぎです……



駒姫様で  
ございますか？

……はて？

あれ以来  
心の奥底に  
引きこもって  
おいでのようで  
姿を見せて  
おりません

いつものことで  
ございます  
ご案じなされる事も  
ないでしょう





あ、い

どうぞ  
こちらへ

イグッ!!

ドク  
ドク



お誉めいただき  
光栄でございます

茶筌や戦闘で  
鍛えた手首の  
スナップ……  
はたまた  
例の逸話の影響  
か……

まあもと男ゆえ  
魔羅の扱いには  
慣れておりますが……

あ……  
利休さんッ



お出しになられますか?

ドク……

※1…ある時、豊臣秀吉が千利休を困らせてやろうと、水を入れた鉢の隅に紅梅の枝を置き「花を生けてみせよ」とふっかけたところ、千利休は枝を逆手に持って梅の花をしごき取って水面に散らしてみせるというウィットに富んだ答えてその難題を解決した…という逸話。利休さんのArtsバトルモーションのおそらく元ネタ。



すべて  
コキ取って  
差し上げましょう♡

こちらは梅の花  
ならぬ栗の花

白い有平糖かと思紛う  
ようなふりふりの  
ざーめんでございますね

※2…砂糖に水あめを加えて固めた南蛮菓子。松葉のかたちのものが茶会の干菓子によく用いられる。



さすがは  
マスター様  
まだこんな……

では  
次は……



おや……



美味……♡





利休 感心♥



お掃除フェラ……

出した直後の  
一物を口で  
以て吸い  
清めるといふ

射精の後も  
殿方を  
悦ばせようといふ  
配り……

今の世の御仁は  
誠に面白き  
もてなしを  
考えます……



荷が重いやも  
しれませぬ♥



駒姫様には  
ちと



このやうな  
大きな一物













女体とは  
摩訶不思議なものに  
なっています……







ご覧下さい……

マスター様の一物を  
頂いただけで……♡

まったく  
世界は広い  
ものです

トドロ

生前「美」を  
ひたすら追い求めて  
おりましたが……

まったく次元の違う  
「美」の世界が  
存在しているとは……

この身体に  
生を受けて  
初めて  
気付かされました

この利休の  
新たな「美」の  
探求に……

是非ご協力  
いただきたく  
存じます……

マスター様……♡





ここが  
あの女の  
庵か……

邪魔するぜ！

……なんと

!?



!?

ぞ……っ……

身体が……



我が必殺

「利休パンチ」で

消し炭にして  
やりましょう……



誰も  
邪魔が入らぬよう  
結界を張ってあった  
はずですが……

神聖な茶会を  
邪魔する  
不届き者は

どこの輩か  
存じませぬが

ギョッ



茶室に入る前に  
外の手水で  
きちんと  
手と口を清められ  
ましたか？

あ  
ごめん

アルコール消毒  
でいい？

利休さん  
そうじゃない！

敵襲だ！



利休さん!?

オイ起きろ

カルデア  
ティーパーティーの  
時間だ

これは……?

マスター様……

利休さん……

例によって  
シミュレーターを  
お借りしました

いずれも  
精力と見識を  
兼ねそなえた  
所内有数の  
数寄者の方々です

今回 利休さん  
にお灸を据えて  
いただく役を  
掲示板で募集した  
ところ

我こそは!  
という方が  
たくさん集まって  
くださいました

そして  
この方々は  
カルデア裏茶道部の  
皆さん……

!!





これはこれは  
駒姫様……

利休さんが  
いけないの  
です

……



若い二人の恋路は  
邪魔せぬ体を  
装いながら

マスター様に  
粉をかけて……

なるほど  
すわ「本能寺」かと  
思いましたか……

後妻打<sup>うわなりうち</sup>  
でしたか……

挙句の果てには  
トンビが油揚げを  
さらうかのごとく……

駒  
キレちゃい  
ました

誰が  
ウワナリウチですか！



無益な殺生は  
やめるんだ  
駒ちゃん！

マスター様は  
お黙りください！

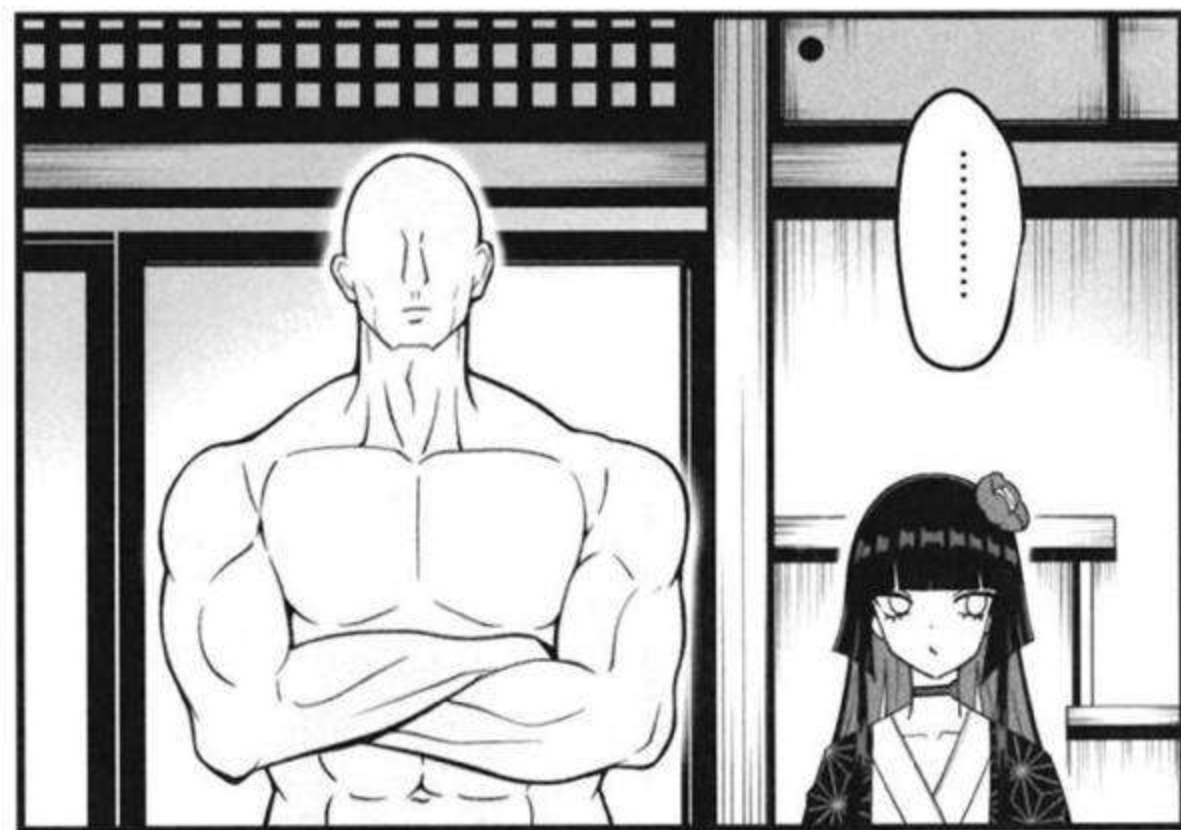
論より  
証拠です



つまり利休居士は  
マスター様の正妻は  
自分で駒姫様は  
哀れな寝取られ女だと  
言下に煽っておいで  
のようです

やはり  
痛い目を見た方が  
いいようですね

これは拙い



……



すみません  
ウワナリウチって  
なんですか？

「うわなり」とは  
後妻のことです

「後妻打」とは  
日本の古い習俗で

離婚された  
先妻が  
夫に新しくできた  
妻(後妻)を妬み  
仲間の女性陣を引き連れ  
その後妻の屋敷などに  
カチコミをかける行事の  
ことを言います

※…後妻打は基本的に男性は関与しないとされるが例外もある。鎌倉時代の「龜の前事件」など。



ご覧ください！

着物の下に  
隠された  
お下品な  
金ビキニを！

美だの侘びだの言いながら  
ひと皮むけば金と欲に塗れた  
いやしい町商人！

これがこの方の  
本性なのです！

「すてきな黒に  
染め上げまじよう」「ママネ  
ですか！

この派手な恰好で  
マスター様を  
誘惑するつもり  
だったんでしょう！

フツ……  
やはり  
駒姫様は  
まだまだ  
お青い

なッ……

お忘れですか？  
己の型に  
固執するのは素人……  
真の茶の湯とは  
客の心に寄り添って  
こそそのものなれば  
……

卒役の皆様  
おねがい  
します！

もう堪忍  
なりません！

御意！

その証拠に……  
あちらを  
ご覧ください

マスター様あ！





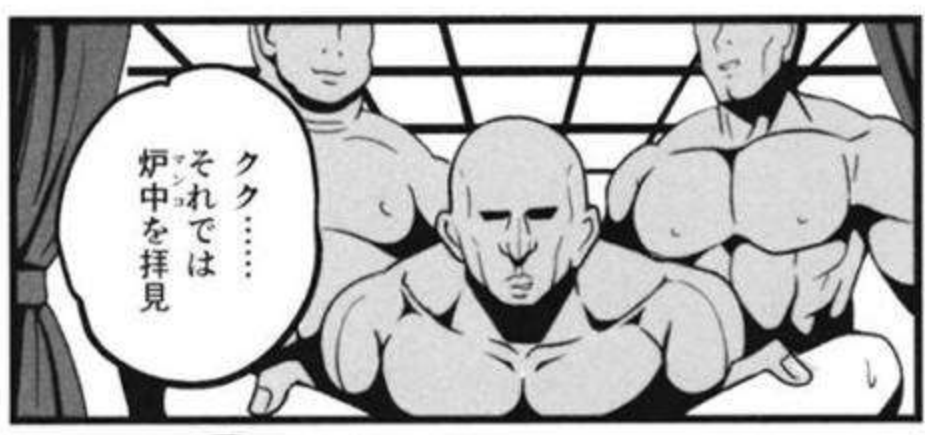
なるほどまずは  
羽箒を使って  
ソフトな攻め……

※1  
初炭手前に  
なぞらえた  
前戯……

さしずめ  
エロ手前  
といったところ  
でしょうか  
……フフ

なかなか  
面白き趣向に  
ございます

※1…茶の湯で炉や風炉に炭を置く所作のこと。茶を点てる前に亭主が客の前で行い、客は炉を圍んでそれを拝見する。



クク……  
それでは  
炉中を拝見



お羽は鶴や鶯  
でございますか？

三枚羽根……

しかしせっかくの  
テロですので  
もう少し……

例えは  
鳳凰の羽根  
などで羽箒を  
作るなど

もう一工夫あると  
より面白き趣向に  
なります

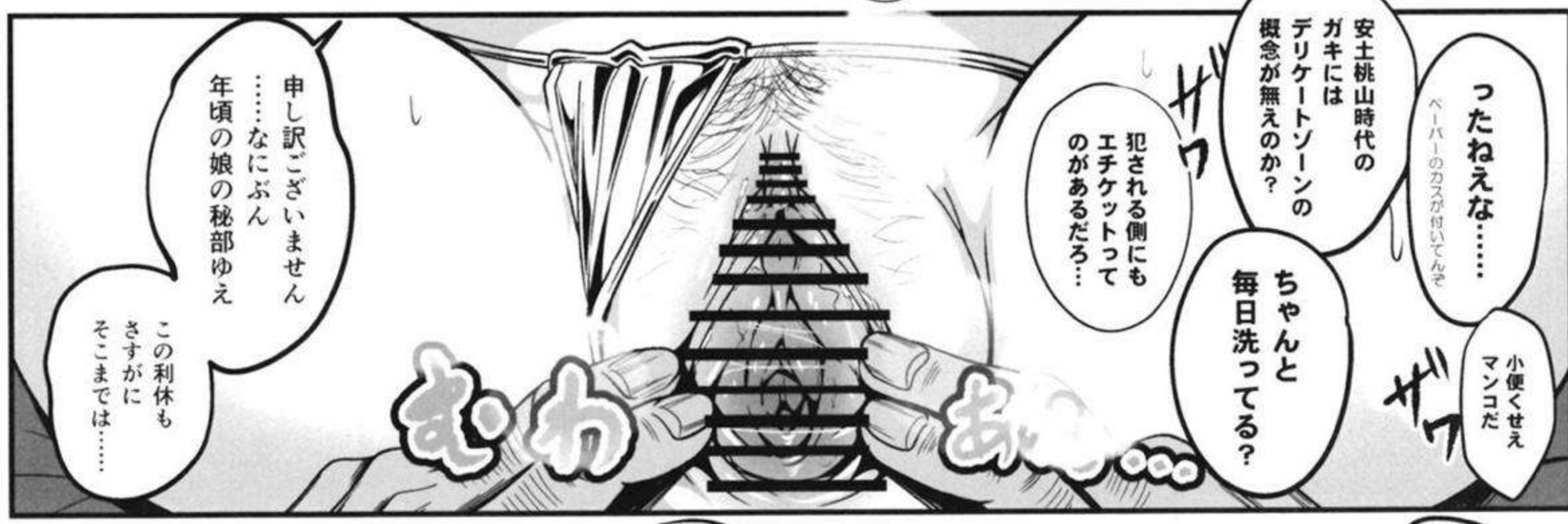
※2  
割り稽古  
やっつらんじゃあ  
ねえんだぞ？

しかし……あ……  
利休の下火も  
燃え上がって  
まいりました

※2…茶の湯のけいこで通してではなく部分を区切って練習すること。



利休さんが  
女として  
辱められるさまを  
高みの見物と  
いきましょるか  
マスター様



つたねえな……  
ペーパーのカスが付いてんぞ

小便くせえ  
マンコだ

ちゃんと  
毎日洗ってる？

安土桃山時代の  
ガキには  
デリケートソーンの  
概念が無えのか？

犯される側にも  
エチケツトって  
のがあるだろ……

申し訳ございません  
……なにぶん  
年頃の娘の秘部ゆえ

この利休も  
さすがに  
そこまでは……



利休さんの  
頼みじゃ  
しょうがねえか……

気を  
取り直して  
行くぞ

わずか  
15ばかりで  
露と消えた  
哀れな  
娘です

多少の  
粗相のほどは  
大目に見て  
いただければ  
……



おあー……！

お……っ……

……ったく

この茶杓もまさか  
抹茶じゃなく  
ガキマンの恥垢を  
すくうのに使われるとは  
夢にも思っ  
てなかつた  
だろうな

ほい  
ほい

申し訳  
ございません  
この身体が  
自然と……

そんな  
にしてん  
のかよ

それはもう  
年頃です  
から……  
あとはご  
想像に  
お任せし  
ます

駒姫様  
の毎夜  
の癖が  
出たもの  
かと

ムツツリ  
そうな  
顔して  
るもんな

終わっ  
たら  
ちゃん  
と洗う  
よう  
に  
言っ  
てよ

でもやっぱ  
竹茶杓は  
蟻腰だよ  
※ 景色が  
通つよ

だよなあ

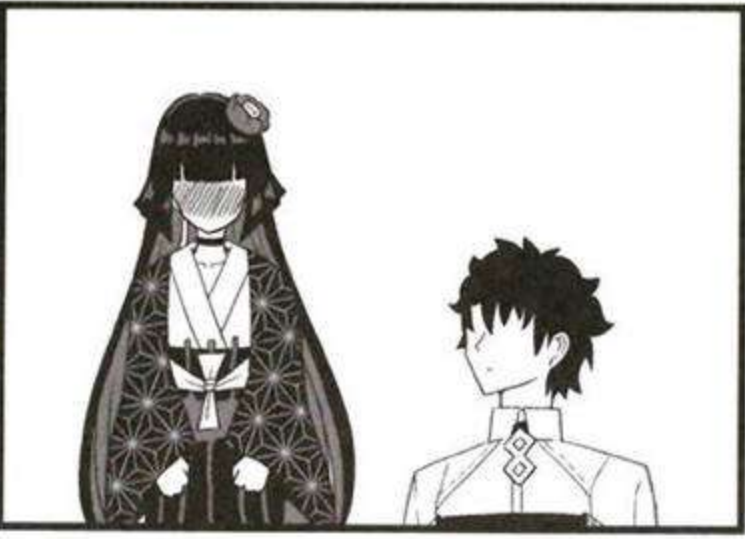
おめえ  
まで  
蟻腰  
にな  
って  
どう  
すん  
だよ

蟻腰の  
キレ  
とい  
い  
スツ  
と通  
つた  
樋  
とい  
い

なかな  
かの  
名品  
……  
茶杓  
師は  
？

知ら  
ね

※竹茶杓で柄の中部が蟻の腰のように「へ」の字に反り曲がっているもの。まっすぐなものは「直腰(すくべ)」







「花は一輪あればいい」※4

……か  
至言だな

椿……

朝顔……

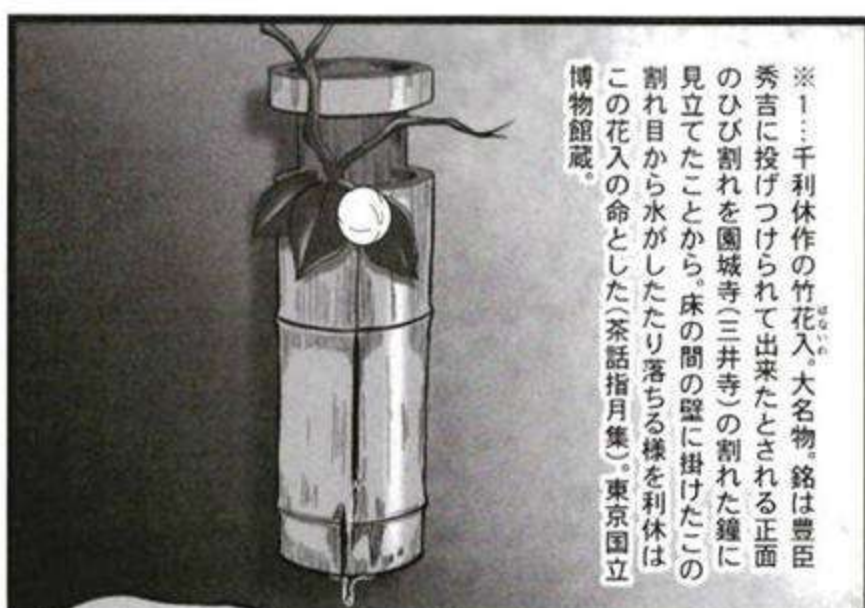
黒百合……※2

曼殊沙華……※3

……か

……か

……か



※1…千利休作の竹花入。大名物。銘は豊臣秀吉に投げつけられて出来たとされる正面のひび割れを園城寺(三井寺)の割れた鐘に見立てたことから。床の間の壁に掛けたこの割れ目から水がしたり落ちる様を利休はこの花入の命とした(茶話指月集)。東京国立博物館蔵。



フフ……

……斯様な枯竹に  
どのような花を  
活けていただけなのか  
……楽しみです  
……

いちいち  
しゃらくせえ  
館だ



うし!  
こんなもんだろ

割れ目から  
メス汁垂らし  
過ぎじゃね?

おんじょうじ※1  
『園城寺』かな?

ハッハッハッ

ハッハッハッ

ハッハッハッ

※2…ユリ科の高山植物。悪臭で虫をおびき寄せ。茶の湯とこの植物との面白いエピソードがあるが、本スジから大きく逸れるうえ余白も足りないなのでここでは書かない。  
 ※3…ヒガンバナの別称。利休は「曼殊沙華と朝顔の花は入れないのがよい」といったそうなのだが、ヒガンバナの強い花は茶の湯の席ではあまり好まれない。しかしエロの席ではどうだろう。  
 ※4…千利休の有名なエピソードにして利休さんのキメ台詞。秀吉が、利休の家の朝顔の花を盗んで庭の花はすべて刈り取られていて、がっかりして部屋に入ったところ床の間に一輪だけ朝顔が花入れに活けてあって関心したという故事から。



グイ  
グイ

だがチンポは  
どうかかな?

オ





うおっ……

ガガッ……

うん  
ちよつとだけ  
その顔  
やめよつか？

……

躡り口  
狭過ぎ……ッ

にじっ

しな……

さすがに  
この身体では  
……ッ！

ん……

くっ……  
マスター様の  
モノよりはるかに  
凶悪……ッ！

入った♡

ああ……♡♡♡

一畳台目の茶室も  
かくやという  
この狭さが……♡！

あ♡

ん♡

あ♡♡やばッ  
すぐイク♡♡！！

バキョッ♡

さすが天下一の  
ご茶堂の  
マンユだ……ッ！

※…千利休の考案といわれる一畳十台目畳（一畳の4分の3）の最小空間の茶室



膣内に出すよ♡♡  
利休さんツ

ク

しゃぶるる

ク

ク

ク

ク

ク



おいしい まだか  
早くしろよな

今  
利休さんと  
生ハム作り中だ  
一座建立中だ  
静かに……

飲み終わったら  
ちゃんと口を清めて  
次に回すんだぞ



※「いちごごんりゆう」・茶の湯では亭主と客が心を通い合わせ一つの茶席をつくり上げること。



この利休に  
上になれど……

あゝクソ  
ガキの癖に  
でけえケツ  
しやがって！

体重132kgの  
騎乗位はどうだ？

いつも引きこもって  
抹茶ラテ片手に  
インターネットばっか  
してっからケツばっか  
デカくなるんだよなあ  
駒公は

ちげえねえ(笑)

違います！

おつも  
**重**……！

腰が  
先に逝くっ！♡



※…千利休（バーサーカー）、身長／体重：132cm・132kg（公式プロフィールより）





こたっ同盟

……本当に  
駒ちゃんが  
これを計画を？

はい

先輩の姫様方から  
ご本をいただいたり  
インターネットで  
学びました

今風に言えば  
わからせ……と  
言うやつですか？



利休さんへのお仕置きタイムが  
終わるまで  
時間も  
かかりそうですし

いかが  
過ごしましょう  
マスター様

駒の琵琶でも  
お聴きに  
なりますか？



利休さんも  
これに懲りて  
当分は  
おとなしく  
なることでしょう



いや  
利休さんなら  
そう言う  
思っ……

ごめんね  
駒ちゃん

駒ちゃんの  
気持ちに気付いて  
あげられなかった  
俺にも  
責任がある

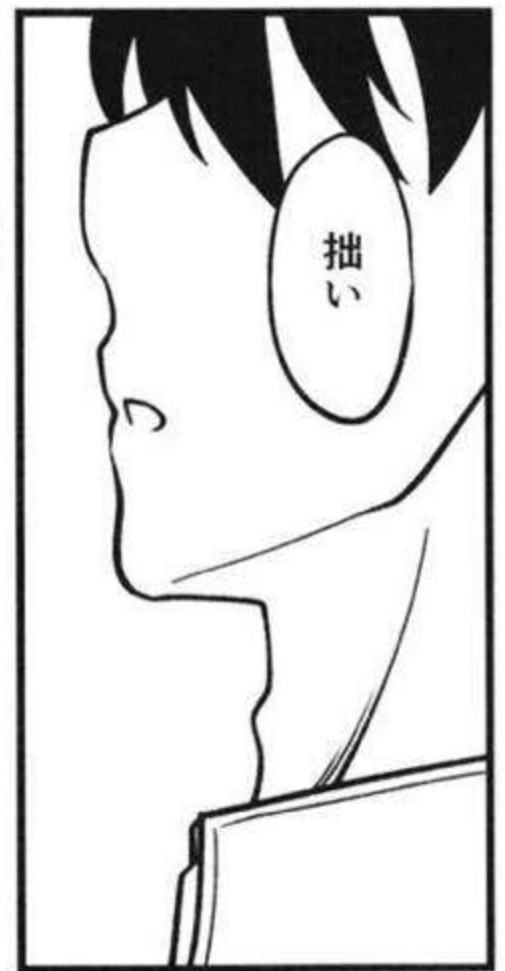
そんな……マスター様が  
謝ることでは……

悪いのは  
利休さんです

利休さん  
悪気があって  
やったわけじゃ  
ない……むしろ  
逆じゃないかな？

それは……  
どういう……

おおー……



拙い



えっ



たしかに利休さんは強欲で俗物で小姑じみてて調子に乗って失敗するところがあるけど

駒ちゃんの事をいつも考えてるんだよ

話をしていれば分かるさ

じゃあマスター様を横取りしようとしたのも駒のためだというのですか？

まあ半分は趣味もあると思うけど……

自分がそうすることによって駒ちゃんに発破をかけるつもりもあつたんじゃないかな

でも……っ！

その証拠に……いつもよりイキイキしてるじゃない駒ちゃん

うッ……

ハア……

ハア……

ハア……

ドド

フュー

フュー

びゅん

ドクドク

ドクドク







怒りのあまり  
利休さんの本心を  
確認するのを  
忘れていました……

たしかに駒は……

いや俺の  
日曜大工  
だけ……

これはさぞ  
名のある  
名工の作に  
違いない



ほう……

手捏ねの  
黒樂デイルド  
とは……

……まさしく利休好み



不浄の穴を  
……!?

これで  
ほぐして……

もう順番待ち  
なんかして  
られっかよ

やっぱり  
穴は一つじゃ  
足りねえよな

おおおおおお  
……!?



……だめだ  
メスイキに夢中で  
聞こえてねえや

利休さんの  
黒い朝顔に

身も心も  
女の子になった  
気分はどうだ  
宗匠?

さすがに三本刺しは  
男の身体じゃあ  
味わえねえだろ?





クク…  
すっかり女の子が  
板についてきたなあ  
利休さん

見ろよ  
この濃厚な  
メスザーメン  
茶筌で泡立てる  
までもねえぜ

もう雄だか雌だか  
わかんねえなこれ

利休さんは  
おしまい

イキ…ッ  
イキます

ほー…

ほー…

グググ

グッ

おッ

マンコの次は  
ケツ穴前で  
メスイキチャレンジ  
するか利休さんよオ?

あ…



イクの意味が  
違うだろ  
クソ坊主がッ!!



茶の湯で  
イク時はなんて  
言うんだ? あ?  
ご教示願うぜ

人生…し…  
七十…う…

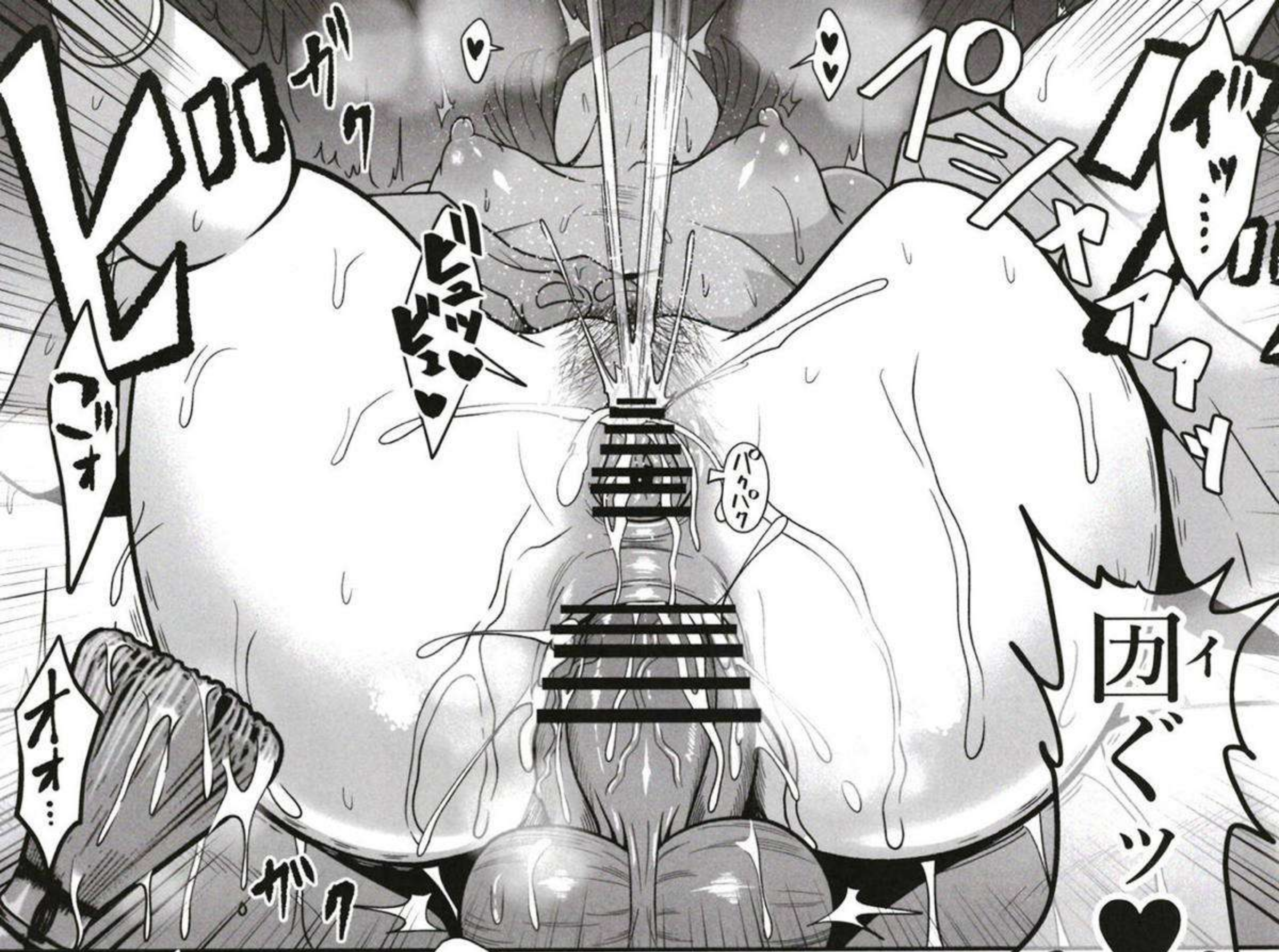
吾が…こッの  
ほうけ…んっ…

そぶつ…  
とも…にッ  
殺す…

うんうん  
なるほど

※…千利休が切腹の前に読んだ遺偈「人生七十 力困希咄(りきいきとつ) 吾が這(こ)の宝剑 祖仏共に殺す」。





※天正十五年(1587)十月一日、豊臣秀吉が京都の北野天満宮で催した大規模な茶会。1000人余の人が参加し、千利休は亭主の一人をつとめ訪れた大勢の人に茶をふるまった。

さすがに犯され過ぎてガバガバになつてきたか？

利休さん相手なら何杯でもイケるわ

北野大茶会もこんな感じだったんだらうなあ

オラもっと塵穴締めろ

今この時ぞ... 天に投げう...

末期の茶席やっつてんじゃあねえんだぞ

はっ！

利休さん聞こえますか...

.....利休さん



駒が間違っ  
ておりました

今まで利休さんが  
マスター様に  
ちよっかい  
出していたのは

単なる  
私欲ではなく

煮え切らない  
駒の背中を叩いて  
押しつけてたのですね

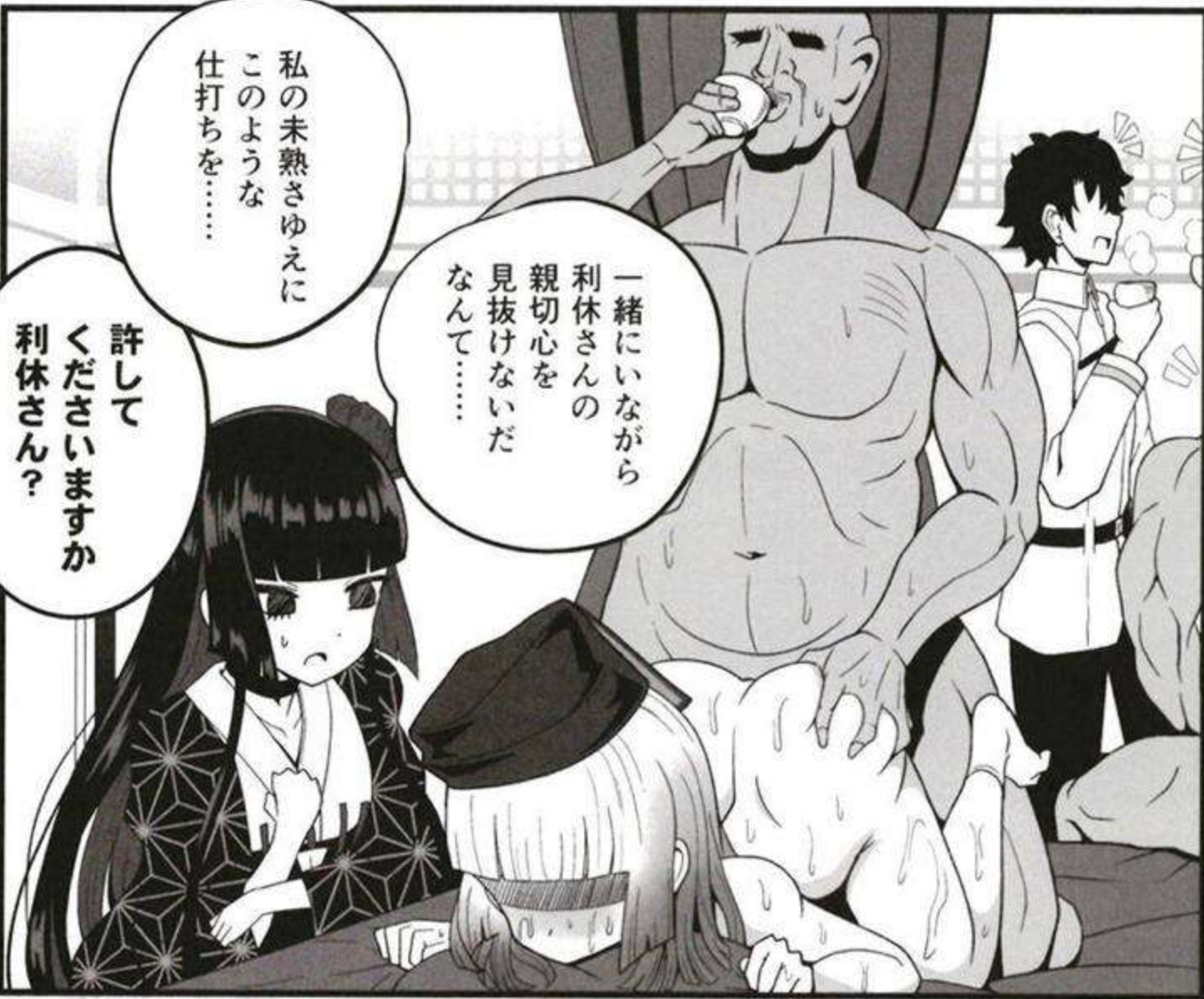
本当はうすうす  
そうではないかと  
感じていたのです

先ほど  
マスター様から  
お話をうかがって  
確信しました

やっと  
お気づきですね  
……

わかって  
いただければそれで  
いいのです……

利休さん……!



私の未熟さゆえに  
このような  
仕打ちを……

一緒にいながら  
利休さんの  
親切心を  
見抜けないだ  
なんて……

許して  
くださいますか  
利休さん?







えっ？

どうした事だ？

急に  
膺の締めまりが  
良く…!?

まるで  
老爺ろうやから処女おとめに  
生まれ変わった  
かのような…!

あひん!?

これは……

違います……

ゴキョウ!!



違います  
利休さんじゃ  
ありません！  
駒です！

入れ替わっ…  
て…あつ！

このケツが  
悪いのか！

快楽から  
逃れたい一心で  
駒姫様の名を  
騙るとは  
ふてえ野郎だ！

髪まで  
伸ばしやがって！

ダメツ  
抜いて…ツ

抜いて…て…

抜いて差し上げろ

おい皆  
利休さんが  
抜いて欲しい  
そうだ

応！

僕おめおめおめ

しっかりと  
子宮で  
受け止める  
よ？

イクツ…







ククク……

女の身体が嫌になるまで使ってやれとの駒姫様からのご命令だ……

違……

はっ……  
お楽しみはこれからだぜ  
宗匠……

あ……



ふう……

利休さん……



まことに……  
女人の躰とは面白きモノにございます……

おががが……



もう少し楽しんでいてもよかったです……

しかし……

これで駒姫様も少し大人になったことでしょう

便所行くのめんどろだからここですか……

溜りキタキタのちゃんご竹ッ穴締めろや

おあま……

あちらが一段落ついたら皆で一服お茶の時間にするおたしまししょう

はい！

おあまおあま……  
おあまおあま……













奥まで届いて♡  
気持ちいいです♡♡

マスター様の  
オチンポ♡

はいっ

気持ちいいですか  
マスター様!?

気持ちいいよ  
駒ちゃん!  
駒ちゃんは?

イク

イクッ

マスター様♡

イクよ  
駒ちゃん!

イクッ

イクッ!

あ♡  
あッ♡

イクッ

イクッ

イクッ

イクッ

ん♡

イクッ

駒ちゃん♡

ん♡

一緒に  
イクましよう  
マスター様♡











# 【参考文献&副読本】

〔書名・出版社・奥付記載の初版発行年〕

## ○千利休に関するもの

- 『千利休 無言の前衛』岩波新書 1990
- 『秀吉と利休』中公文庫 1973
- 『利休の逸話』淡交社 2013
- 『利休百首ハンドブック』淡交社 2013
- 『茶人叢書 千利休 「天下一」の茶人』宮帯出版社 2019
- 『軍師 千利休 秀吉暗殺計画とキリシタン大名』祥伝社 令和2年
- 『人物叢書 千利休』吉川弘文館 1963
- 『pen BOOKS 千利休の功罪』CCCメディアハウス 2009
- 『千利休のすべて』新人物往来社 1995

## ○カルチャーとしての茶の湯・茶道に関するもの

- 『入門 お茶の作法』西東社 2005
- 『実用 茶懐石の頂き方と作法』淡交社 平成二十四年
- 『NHK趣味どきっ! 茶の湯 裏千家 一陽来復 開炉から迎春に寄せて』NHK出版 2022
- 『pen BOOKS 茶の湯デザイン』CCCメディアハウス 2009
- 『表千家茶の湯入門』(上・下)主婦の友社 平成十三年

## ○茶の湯・茶道の歴史に関するもの

- 『茶の本』岩波文庫 1929
- 『茶湯一会集・閑夜茶話』岩波文庫 2010
- 『茶の湯の歴史』角川ソフィア文庫・令和3年
- 『中世の喫茶文化 儀礼の茶から「茶の湯」へ』吉川弘文館 2018
- 『日本の茶書1』東洋文庫 1971
- 『日本の茶書2』東洋文庫 1972
- 『茶道の歴史』講談社学術文庫 1979
- 『茶道の哲学』講談社学術文庫 1987
- 『茶道の美学』講談社学術文庫 1996
- 『茶と美』講談社学術文庫 2000
- 『茶の湯事始』講談社学術文庫 1992
- 『よくわかる伝統文化の歴史③ 黄金文化と茶の湯 安土桃山時代』淡交社 平成18年
- 『日本の伝統文化5 茶と花』山川出版社 2020
- 『茶の湯のトリビア』淡交新書 2021
- 『武家文化と同朋衆』ちくま学芸文庫 2020
- 『普及版 角川茶道大事典』角川書店 平成十四年

## ○茶道具・茶室に関するもの

- 『カラー版 わかりやすい茶道具の見かた』淡交社 平成9年
- 『マボロシの茶道具図鑑』淡交社 令和元年
- 『茶の湯の羽箒 知られざる鳥の文化誌』淡交社 2018
- 『利休のかたち 好み道具と「利休形」』淡交社 2020
- 『茶杓の正体 茶杓は茶人そのものである』安住楽風
- 『“しくみ”で解く茶室』風土社 2006
- 『茶器と懐石』講談社学術文庫 昭和55年
- 『茶道具入門』講談社 昭和四十六年
- 『材料科学の視点から眺めた 茶道具の素材と歴史』大学教育出版 2023
- 『天下の茶道具、鑑定士・中島の眼』淡交社 平成24年
- 『堀口捨己建築論集』岩波文庫 2023

## ○茶・喫茶文化に関するもの

- 『中国茶図鑑』文春新書 2000
- 『「食」の図書館 お茶の歴史』原書房 2014
- 『新版 日本茶の図鑑』マイナビ出版 2017
- 『宇治抹茶問屋4代目が教える お抹茶のすべて』誠文堂新光社 2019
- 『日本茶の世界』講談社学術文庫 2022
- 『茶の博物誌』講談社学術文庫 2002
- 『ヴィジュアル版 世界のティータイムの歴史』原書房 2021
- 『英国の喫茶文化』論創社 2021
- 『茶の世界史』中公新書 1980

## ○禅に関するもの

- 『決定版 よくわかる茶席の禅語』主婦の友社 平成十五年
- 『図解雑学 禅』ナツメ社 2005
- 『禅林句集』岩波文庫 2009
- 『禅の思想』岩波文庫 2021

## ○駒姫に関するもの

- 『人物叢書 豊臣秀次』吉川弘文館 2015
- 『人物叢書 最上義光』吉川弘文館 2016
- 『琵琶法師 一〈異界〉を語る人びと』岩波新書 2009
- 『最上義光物語』教育社新書 1989

## ○その他

- 『大阪商人』講談社学術文庫 2010
- 『堺あれ? これ! 一茶聖・千利休こと堺商人・田中与四郎宗易 その他』竹林館 2015
- 『堺一海の都市文明』PHP新書 2000
- 『茶人叢書 益田鈍翁 近代数寄者の大巨頭』宮帯出版社 2023
- 『日本系譜総覧』講談社学術文庫 1990
- 『藤原行成「権記」』(上・中・下)講談社学術文庫 2011~2012
- 『藤原道長「御堂閔白記」』(上・中・下)講談社学術文庫 2009

## 映像作品

- 『利休』松竹 1989



# おまけのページ 千利休・茶の湯 編

# 夏休み読書コーナー

一般的な学術書籍の多くは前頁のように参考文献を挙げるだけで、各文献の解題などはおこないませんが、この本は好き勝手できる趣味の同人誌なので、今回利休さん＆駒姫様のエッチな漫画を描くにあたり資料用に収集した本の一部を、先人方への敬意を込めて紹介させていただきます。なお、全部は載せきれないので、特に役に立ったもの、面白かったもの、特筆すべきものを中心に挙げます。掲載順はランダム。みんなも夏休みに読んでライバルに差をつけよう！（校正係不在につき、多少の誤字・脱字・事実誤認はご寛恕ねがいます）



利休さんの本を描くに当たってざっと集めた初期メンバー。最終的にはこの倍くらいになった。

## 『日本系譜綜覧』

（講談社学術文庫）  
日本史上のあらゆる系譜が載っている文字通り座右の書。もちろん、村田珠光からはじまる茶の湯・茶道の各流派の系譜も載っている。武将の系譜を確認したいときとかもちょくちょく引いています。



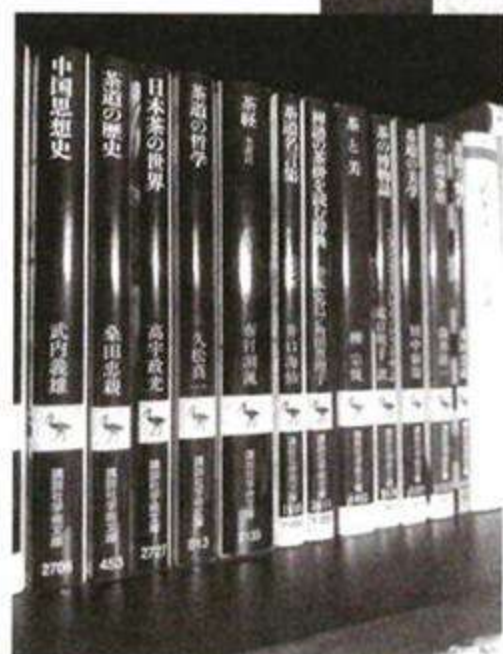
関連して世界の喫茶文化や茶の歴史についてもいくつか読んだけどそっち方面のネタは活かせなかったのは残念。ボストン茶会事件とか使いたかった…。

## 『宇治抹茶問屋 4代目が教える お抹茶のすべて』

（誠文堂新光社）  
お茶の実用書や入門書は数あるけど抹茶専門は珍しいのでは。「抹茶味」が世間に浸透した、そのきっかけとなったブームについても少し載っている。



専門・一般を問わず千利休関連の文献はとにかく多い。ゴッホちゃんの数ではない。



意外と茶の湯関連の既刊が多かった講談社学術文庫。



なお抹茶ラテネタは本編でも二次創作でも擦られすぎて食傷気味なので本書では封印。





『入門 お茶の作法』

(西東社)

あくまで千利休がテーマなので、現代における茶道とか茶の作法のたぐいは、基礎的な確認だけ…と決めていたところ、最初に手に入れた本がこれ。写真が豊富でわかりやすいので結果としてとてもよかったです。



『武家文化と同朋衆』

(ちくま学芸文庫)

同朋衆(どうぼうしゅう)とは、将軍や大名に近侍して芸事をつかさどった人々の事で、能で有名な世阿弥とかが有名。(あとは「元の木阿弥」の木阿弥など)。千利休の「千」家は、利休の祖父、千阿弥に由来している、という通説があり、その点でも千利休の出自に深くかかわってくる。



『名物茶入の履歴書』

(淡交社)

茶入って丸くて手にスッポリ収まる大きさだし、いろんな種類あるし、愛でたくなるのもわかります。その割に名のあるものは一国一城にも匹敵する価値があったとか。すごい時代だ……。現代で女子高生に人気出たりしないかな……？



『茶の湯の歴史』

(角川ソフィア文庫)

茶道の歴史ではなく、茶の湯の歴史というところがミソ。つまり茶の発見から喫茶文化の誕生、中国からの茶の将来といった、千利休以前からの大きな喫茶文化史の流れのなかでの茶の湯の歴史。



『茶経 全訳注』

(講談社学術文庫)

唐の時代の人、陸羽(りくう)が残した世界初の茶書。文庫で読めるのは驚きですね。



『へうげもの 古田織部伝』

(ダイヤモンド社)

千利休の一番弟子、古田織部の評伝(1968年刊)を改題・現代語訳した本。余談だけど千利休の逸話を調べた後で漫画『へうげもの』を読むと、数々の逸話やエピソードが史実や伝記をもとに上手いこと料理されていることが分かってニヤっとしたり膝を打ったり舌を巻いたりします。



『茶の湯の羽箒 知られざる鳥の文化誌』

(淡交社)

ほとんど唯一といっていい、茶の湯でつかわれる「羽箒」をテーマにしたユニークな本。茶の湯好きはもちろん、動物としての鳥類、鳥の羽根が好きな人にもおすすめ。ペンギンの羽箒があるのはびっくり!



『茶の湯事始』

(講談社学術文庫)

古い本で文庫ですが、けっこう専門的。茶の湯の大成者といわれる利休ですが、当然そこに至るまでの茶の湯の歴史というのがあって…でもやっぱりこう、物事が固まりきらない半熟状態の時期っておもしろいですよね。戦国時代がおもしろいのもそれ。



『普及版 角川茶道大事典』

(角川書房)

古本屋でたまたま手に入れた本ですが、ブックデザインもエディトリアルもグッド。写真・図版も多く、普及版だからコンパクトだして持っていたら心に余裕ができる一冊。時間があったら一頁目から全部読みたいところです。



『南方録』

(岩波文庫)

千利休の高弟とされる南方宗啓の著した茶の湯の秘伝書…とされるが偽書説もあり、よくわからない。かなり前から名前と存在は知っていたけど実はなんの本なのか分からなかった。





『茶湯一会集・閑夜茶話』  
(岩波文庫)  
桜田門外の変で有名な井伊直弼の著した茶書。「一期一会」という四字熟語を有名にしたのはこの『茶の湯一会集』だとか(「一期に一度の会」という言葉自体は利休と同時代の『山上宗二記』に記録がある)。



『堀口捨己建築論集』  
(岩波文庫)  
利休の茶室研究で知られる建築家・堀口捨己の論集。ちょうど原稿を描きはじめての時期に刊行された新しい本でグッドタイミングでした。現存する利休作唯一の茶室、国宝「待庵」についての論文が興味深い。



『天下の茶道具、鑑定士・中島の眼』  
(淡交社)  
アニメ「へうげもの」の番組コーナーの一つとして、鑑定団でおなじみ中島誠之助先生が各地の名物茶道具を訪れる…という企画を元に書籍化したもの。残念ながら私はリアルタイムで視聴してなかったので映像は未見ですが、こうして一冊の本としてまとまっているのはありがたいことです。



『マボロシの茶道具図鑑』  
(淡交社)  
松永久秀の平蜘蛛からはじまり、戦火で失われた茶道具、行方不明となった茶道具、修復され蘇った茶道具、生き残った茶道具、そして茶道具コレクターの紹介という構成。特に、失われた茶道具の再現イラストは助かります。記録は残されているものの、その姿をイメージするのは素人にはむずかしいので。



『利休の逸話』  
(淡交社)  
この本一冊があれば間に合っちゃうんじゃない?…ってくらい、いろんな文献・史料から千利休の有名・無名あらゆるエピソードを集めてひとつにまとめた本。巻末には原文や出典もあるので元本に当たりたい人にも安心。



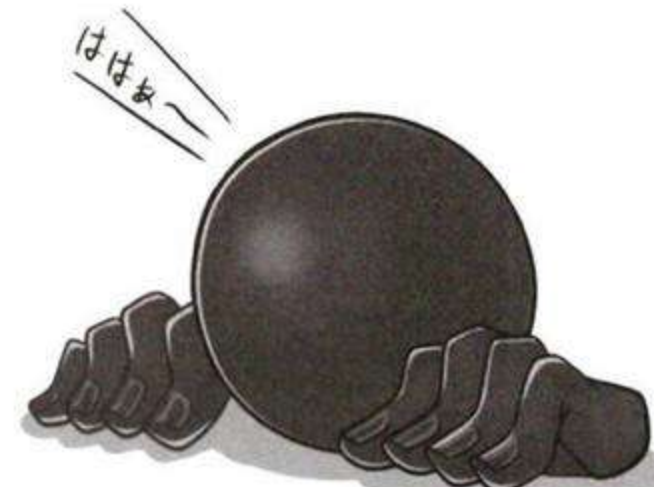
『決定版 よくわかる茶席の禅語』  
(主婦の友社)  
文字数順にいろんな禅語が載っているのでもっと引くの便利。千利休の辞世の句で有名「力困希咄」も載っている(困は実際には口に力)。お気づきの方もおられるでしょうが、本編最後ので利休さんが発した「イクッ」はここから。



『利休のかたち 好み道具と利休形』  
(淡交社)  
展示会の図録としての本なので写真がキレイでいいですねいわゆる「利休好み」というやつで、雪駄とか円座(路地の腰掛に置いてある座具)にいたるまで幅広い茶道具が載っています。待庵もね。



『茶道名言集』  
(講談社学術文庫)  
すこし古い本ですが、大文字版なのでよみやすく、おもしろエピソード中心で入門書として好いですね。



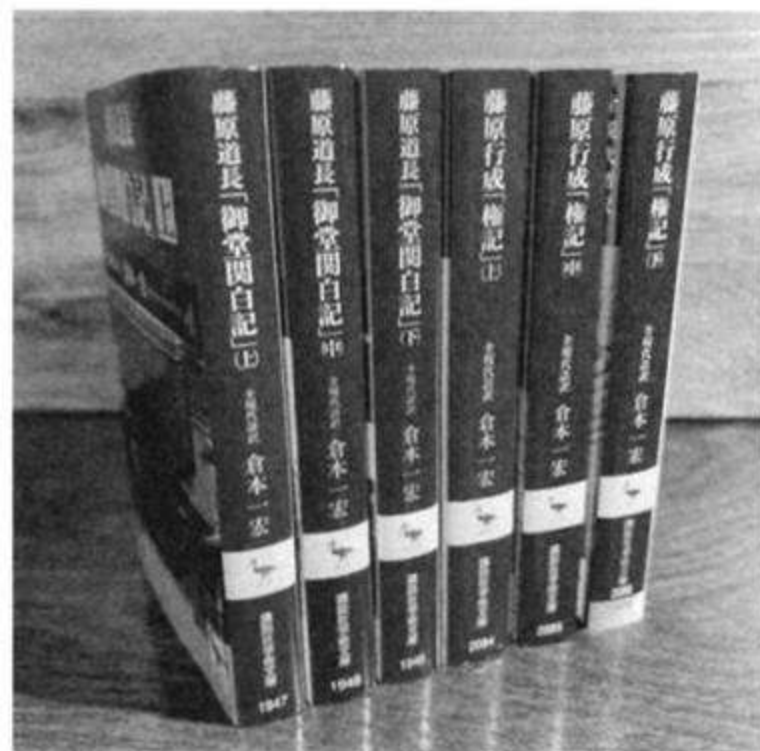
千利休の一側面として茶人のほかに堺の商人というアイデンティティがあり、FGOの利休さんも金子大好きキャラとして可愛いギャップをのぞかせていますが、史料の制限からか、具体的にどういう商売をしていたのかってのは歴史書や評伝にもあまり触れたものはありませんね。倉庫貸しをしていたとか、干魚を売ってたとかその程度。織豊政権期に茶の湯文化をはぐくんだ堺という土地も気になってはいますが、時間的制約でまだ行けてない。(昔一度だけ行ったことがあるけど、大仙陵古墳とか自転車博物館とか、その頃は不勉強もあり茶の湯の茶の字も浮かばなかった)。京都も含め、一度ゆっくり取材旅行したいものです。あと古墳巡りとかもイイネ。





『人物叢書 最上義光』  
『人物叢書 豊臣秀次』  
(吉川弘文館)

駒姫様の父親と嫁ぎ先(秀吉の甥)の評伝。駒姫自体は研究書がほぼ無いので、その周辺を調べることになります。駒姫処刑シーンの詳細については『秀次』の方が詳しく載っており、その生々しい描写に少し沈みます。



『藤原行成「権記」』  
『藤原道長「御堂問白記」』  
(講談社学術文庫)

今回は端役でしたが、いずれ平安時代はガッツリ取り組まないとなあ…と思ってます。なぎこさん本描けたらいいね……。



『日本の茶書1・2』  
(東洋文庫)

『喫茶養生記』『喫茶往来』『山上宗二記』『分類草木目』『古田織部伝書』『南方録(覚書)』『茶話指月集』など有名な茶書はたいてい収録されている。特に『山上宗二記』(岩波文庫)は品切れで探しても手に入らなかったのが助かりました。姉妹編?に『中国の茶書』もあるけど手に入らず未読。



『秀吉と利休』(中公文庫)  
『利休』(松竹)

千利休がテーマの作品として真っ先に思いついたのが野上彌生子の小説とそれをもとにした映画。基本的にフィクション類は参考文献には含めないのですが、自分の中の千利休のイメージといえば、この映画『利休』だったので、特別枠ということで。昔観た時は千利休の生涯とか露ほども知らなかったのが、なにが起こってるのか分からず、利休が切腹へと向かう印象的なラストシーン以外、内容もほとんど忘れてました。小説の方も、なにかの本で野上彌生子の秀吉と利休の関係はとネロのセネカのそれであるみたいなのが書いてあって、そうかあ…と気になっていたのが今回ちょうどいい機会なので読み始めました(まだ読み終わってないけど)。それにしても『利休』を観返したら石田三成が『へうげもの』の石田光成そのままだったのは笑った。

千利休の伝記・評伝はいつも出て、その他の茶の湯の歴史本もあわせて、一度に読みすぎて正直どれがどれだか分からなくなっていました……。あえて挙げるなら『人物叢書 千利休』(吉川弘文館)が一番入門編としてとつきやすいのではないのでしょうか。なんとなく。





## 【あとがき】

実は初の和鯖本です。

利休さんは実装当時から気に入ってたキャラでして  
薄い本は絶対描くと思っていたので今回実現できて  
やりたい事リストをひとつ消化できました。

実質2人分の薄い本でページ数もいつもの倍近くなって  
過去最高に大変でしたが、  
なんとかやり遂げることができました。  
ありがとう。

ps. ご意見ご感想・おシコリ報告・ご依頼・Skebリクエスト・えっちな作画資料提供・  
その他、いつでもお気軽にお寄せください。

## 【奥付】

タイトル：『利休・ハード』

発行日：2023年8月13日（コミックマーケット102）

発行サークル：ニャリャボンガ

発行者：世界最速のバンダ

連絡先：sekaisaisoku.no@gmail.com

印刷所：

 **SUN GROUP**  
http://www.sungroup.co.jp/

twitter (X) : @t\_sspd

pixiv ID: sekaisaisoku



